



第57回通常総会及び令和7年度優秀従業員定例表彰 開催

6月10日、第57回通常総会及び令和7年度優秀従業員定例表彰を開催。総会では、事業報告及び決算の承認、役員を選任、定款の変更及び常勤理事の年間報酬総額の決定について審議が行われ、全議案承認されました。

その後、理事会を経て、令和7年度優秀従業員定例表彰を挙行。会員企業から推薦された70名（53社）が表彰されました。



第57回通常総会	2
令和7年度（第58期）事業計画	3
副会長 退任・就任ご挨拶	4、5
令和7年度会員企業優秀従業員定例表彰	6



会員企業トップにインタビュー〈41〉(株)西村製作所 8 ～「切る、巻く。で世界を支える」を掲げ、スリッターで持続企業を目指す！～

第41回目は、独自設計によるスリッターの研究開発に努め、国産第1号機を造った(株)西村製作所の代表取締役社長 西村久人氏にお話を伺いました。

◀代表取締役社長 西村 久人氏

事業活動報告

白鷺クラブ	7
■令和7年度定期総会（蔦の会と合同開催）	
■メンバー企業 太平工機株訪問	
■蔦の会先輩経営者 泉電熱株訪問	
京都工業クラブ	7
■「次世代電池の開発と今後の動向について」	
■「最先端のAI/生成AI導入事例のご紹介 ～AI/生成AI導入の成功の鍵となる要因を徹底解説～」	
■「ペロブスカイト太陽電池 ～量産化の見通しと世界との競争～」	

業務革新研究会	9
流れづくり（VSM）研究会	
産業工学（IE）研究会	
京都高等技術・経営学院	
電子システム研究科・メカトロニクス研究科	
開講式	9
環境人材育成講座（新規事業）	11

新規事業の予告

外国人材採用研究会（エンジニア編）	9
-------------------	---

シリーズ 魅力ある職場づくり～会員企業の取組紹介～その⑨

コフロック株	10、11
--------	-------

令和6年度会員意見調査においても『当面の経営課題』として多くの企業が「人材不足への対応」を挙げられました。今回も引き続き、社員の確保と定着に欠かせない要素の一つである“魅力ある職場づくり”をテーマに取り上げ、ご紹介します。

叙勲の栄	12
新入会員ご紹介	12
ゴルフ同好会（KIG）だより	12
訃報	12

第57回 通常総会を開催

6/10

6月10日（火）、第57回通常総会及び令和7年度優秀従業員定例表彰をホテルグランヴィア京都にて開催した（※受賞者一覧は6頁に掲載）。14時30分から総会を開会。冒頭、村尾 修会長が開会挨拶を行った後、議長に選任され議事に入った。当日の議案は次の通りである。



挨拶
村尾 修・京都工業会会長

- ・第1号議案：第57期事業報告及び決算の承認の件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- ・第2号議案：役員を選任の件
- ・第3号議案：定款の変更の件
- ・第4号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第1号議案では、本永専務理事が事業報告全般及び収支決算等について説明を行った。続いて、各委員会で実施した事業について、各委員長から報告があった。（報告者：総務委員会・太田克己氏、企画委員会・小島新也氏、技術・教育委員会・洲崎智之氏、中堅企業委員会・堀英二郎氏、中小企業委員会・瀬川晋弘氏、環境委員会・三ツ松昭彦氏、安全衛生委員会・島田清孝氏、広報委員会・武田句平氏）

次に、監事4名を代表し、澤田守成監事から会計監査報告がされ、全員異議なく原案通りに承認された。

第2号議案については、去る5月に開催した第349回理事会での審議結果を理事会推薦案として提案し諮ったところ、全員異議なく承認された。

第3号議案の公益法人制度の改正に伴う定款変更及び第4号議案の常勤理事の年間報酬総額の決定について、専務理事が説明を行い、いずれも全員異議なく承認され、全議案の審議は滞りなく終了した。

続いて報告事項として、第58期事業計画及び収支予算（令和7年4月1日～令和8年3月31日）について、専務理事が説明を行い、これをもって総会の議事はすべて終了した。

引き続き理事会を開催し、役付理事の選定について審議を行った。

まず、選任方法について諮ったところ、議長一任とすることが承認されたため、議長案として副会長3名、常任理事1名と新たに参与3名が提案され、いずれも全員異議なく承認された。

（※役職名は総会開催日）

《新役員》（任期は総会開催日から次期通常総会開催日まで）
副会長 廣江敏朗（株SCREENホールディングス 社長）
西村 陽（日新電機株 取締役）（6月24日付副会長就任）
材木正己（日東精工株 会長）
常任理事 門脇あつ子（大阪ガス株 執行役員 京都地区統括支配人）
理事 奈良 正（サンコール株 社長）
西澤尚浩（大日本印刷株Lifeデザイン事業部担当 常務執行役員）
錦織 晃（株日進製作所グループ 副社長）
嶋田達也（日本たばこ産業株 関西工場工場長）

《参与》（任期は令和10年の通常総会開催日まで）
垣内永次（株SCREENホールディングス 会長）
松下芳弘（日新電機株 社長）（6月24日付参与就任）
錦織 隆（株日進製作所グループ 特別顧問）

総会終了後は令和7年度優秀従業員定例表彰を執り行い70名（53社）を表彰、続いて懇親会を開催した。

懇親会では、冒頭、村尾会長が開会挨拶を行った後、来賓を代表して、文化庁文化戦略官兼政策課長・横井理夫氏、近畿経済産業局産業部部長・谷原秀昭氏、京都府知事・西脇隆俊氏、京都市副市長・岡田憲和氏からそれぞれ祝辞をいただいた。

その後、来賓紹介及び祝電披露を経て、この春に叙勲の栄に輝かれた株寺内製作所 相談役・山本賀則氏、株京都科学 相談役・片山保氏代理の同社取締役専務・寺井常彦氏に記念品を贈呈した。

その後、上田輝久副会長の乾杯の発声を皮切りに開宴し、和やかな歓談が広がった。最後に瀬川晋弘副会長の閉会挨拶をもって、盛況のうちに懇親会は終了した。



祝辞
横井理夫・文化庁文化戦略官兼政策課長



祝辞
谷原秀昭・近畿経済産業局産業部部長



祝辞
西脇隆俊・京都府知事



祝辞
岡田憲和・京都市副市長



優秀従業員定例表彰
表彰状授与



乾杯
上田輝久・京都工業会副会長



懇親交流会



閉会挨拶
瀬川晋弘・京都工業会副会長

令和7年度（第58期）事業計画

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【本年度の重要テーマ】

1. 課題解決力の強化とリスクリングを軸とした人材の育成
論理的思考や問題分析、創造的なアイデアの構築といった課題解決力の強化と、DXやIoT、生成AIをはじめとする新たな技術の活用により、変化の激しい現代のビジネス環境に適応し効果的に問題を解決できる人材の育成。
2. 脱炭素・カーボンニュートラルの取組の強化
TNFDをはじめとする経営を取り巻く「環境」を一層重視し、サプライチェーン全体を見据えた取組の強化。
3. イノベーションの創出につながるネットワークづくりの強化
オープンイノベーションや大学・スタートアップ等との協業支援とともに、災害などのリスク対策や創造的活動などに関わる人・モノ・情報をこれまで以上に的確につなげる取組の強化。

★ 新規事業 ◆ 一部新規 ☆ 重点事業

1 会の組織強化と会員相互の交流促進

- 1) 総会、理事会、正副会長会議等の開催……………随時
- 2) 委員会活動の推進……………随時
- 3) 海外産業視察団の派遣……………1回/年
- 4) 国内産業視察の実施……………1回/年
- 5) 京都工業クラブの開催……………12回/年
- 6) 鳶の会、白鷺クラブの運営……………随時
- 7) 新春交歓会の開催……………1回/年
- 8) ゴルフ同好会 (KIG) の運営……………4回/年
- 9) 広報活動の充実と有用な会員サービスの展開……………随時
- 10) ホームページ掲示板機能による情報交換……………随時
- 11) 京都のモノづくり企業樹形図製作に向けたタスク・フォース 随時
- ★12) Webを活用した各種事業情報の発信強化……………随時

2 経営・業務革新の促進と人材育成

経営課題解決シリーズ 1)～2)

- 1) 大会・フォーラム・セミナー・養成講座・視察・見学会等
 - ア. 第28回 京都KAIZEN大会……………1回/年
 - イ. 第19回 京都TQMフォーラム……………1回/年
 - ウ. 購買管理特別講演会……………1回/年
 - ◆エ. ISO9001内部監査員養成講座……………5回/年
 - ◆オ. ISO14001内部監査員養成講座……………4回/年
 - カ. 生産革新工場見学会……………4回/年
 - キ. 2025年版ものづくり白書説明会……………1回/年
 - ク. 課題対応型セミナー
 - ・エンジニアでなくても解る「モノづくり超基本」勉強会… 5回/年
 - ・産学連携によるイノベーション推進セミナー… 2回/年
 - ・脱炭素化取組支援セミナー……………1回/年
 - ・ロボット導入・運用支援見学会……………1回/年
 - ・デジタル・トランスフォーメーション (DX) 講座… 2回/年
 - ・生成AI活用セミナー……………2回/年
 - ・サイバーセキュリティ対策セミナー……………1回/年
 - ◆・ものづくりにおけるデータ活用セミナー (見学会)… 1回/年
 - ◆・モノづくりモチベーション向上セミナー (管理職向け)… 1回/年
 - ・業務改善のためのアイデア発想講座……………4回/年
 - ・外国人材マネジメントセミナー……………3回/年
 - ★・環境経営を推進する人材育成講座……………6回/年
 - ◆・中堅・中小企業のための人事評価制度導入・運用支援セミナー… 1回/年
 - ★・障がい者雇用促進セミナー (中小企業向け)… 1回/年
 - ◆・BtoBでも活用できる小売業・サービス業から学ぶブランディングセミナー… 1回/年
- 2) 経営管理懇話会の開催 (管理者対象)
 - ◆① 経営企画戦略会議21……………7回/年
 - ◆② R & D問題懇話会……………6回/年
 - ◆③ 購買・資材問題懇話会……………6回/年
 - ◆④ 生産問題懇話会……………6回/年
 - ◆⑤ 品質保証懇話会……………6回/年
 - ⑥ 人事労務問題懇話会……………6回/年
 - ⑦ 労働安全衛生研究懇話会……………7回/年
 - ⑧ 女性活躍推進懇話会……………4回/年
 - ◆⑨ 経理問題懇話会……………6回/年
 - ◆⑩ 監査部門懇話会……………6回/年

リスキルシリーズ 3)～5)

- 3) 業務革新研究会の開催 (若手社員～中堅実務者対象)
 - ① 開発設計革新 (VE) 研究会……………10回/年
 - ② 流れづくり (VSM) 研究会……………10回/年
 - ③ 購買調達革新研究会……………10回/年
 - ④ 生産管理 (TOC) 研究会……………10回/年
 - ⑤ 品質革新研究会……………10回/年
 - ⑥ 産業工学 (IE) 研究会……………10回/年
 - ⑦ 生産保全研究会……………10回/年
 - ⑧ 生産現場リーダー力強化研究会……………10回/年
- 4) 特定分野研究会等の開催 (若手～経営幹部対象)
 - ◆① 知的財産権研究会……………9回/年
 - ◆② テクノロジー&マネジメント研究会……………14回/年

- ◆③ 情報通信研究会……………7回/年
- ★④ DX推進研究会……………5回/年
- ⑤ AI研究会……………5回/年
- ⑥ 良いモノづくりをする女性のための研究会……………4回/年
- ★⑦ 外国人採用研究会 (エンジニア編)……………4回/年
- ★⑧ BCP・危機管理研究会……………4回/年
- 5) 京都高等技術・経営学院の運営 (若手技術者対象)
 - ア. 研究所……………6～2月 1回/週
 - ・電子システム研究科 } 各研究科延べ70回
 - ・メカトロニクス研究科 }
 - イ. 本科
 - <技術課程>
 - ・機械設計コース……………17回/年
 - ・機械製図コース……………5回×2クール/年
 - ・機械加工技術コース……………4回/年
 - ・特定分野コース (特に最近開催ニーズの高い3つの講座を実施)
 - ① 材料技術講座……………4回/年
 - ◆② ライフサイエンス (医工連携) 推進講座… 4回/年
 - ③ DX推進人材育成講座……………3回×2クール/年
 - <管理課程>
 - ・モノづくりベーシックコース……………4回/年
 - ・FMEA・FTAコース……………5回/年

3 オープンイノベーション推進による新産業・新事業創出

- ★1) モノづくりイノベーションネットワークの実用化促進加速強化…年間
- ★2) 「モノづくりフォーラム2026」……………1回/年
- ★3) 産学連携によるイノベーション推進セミナー (再掲)… 2回/年
- ★4) 京都知恵産業創造の森との連携……………年間
- ◆5) 京都ビジネス交流フェア2026を通じた産学連携事業の拡充… 1回/年

4 経営グローバル化の推進

- 1) 海外産業視察団の派遣 (再掲)……………1回/年
- 2) 海外ビジネスセミナーの共同開催……………1回/年
- 3) ジェトロ京都貿易投資情報センターとの連携……………随時
- 4) 海外経済団体との交流……………随時
- 5) 外国人材マネジメントセミナー (再掲)……………3回/年
- ★6) 外国人採用研究会 (エンジニア編) (再掲)……………4回/年

5 中堅・中小企業の振興

- ◆1) 中小企業技術幹部交流会……………5回/年
- 2) 中小企業見学会……………4回/年
- 3) 生産革新工場見学会 (再掲)……………4回/年
- ◆4) 中堅・中小企業のための人事評価制度導入・運用支援セミナー (再掲)… 1回/年
- ★5) 障害者雇用促進セミナー (中小企業向け) (再掲)… 1回/年

6 地球環境の保全と環境経営の推進

- 1) 京都環境管理研究会……………7回/年
- ★2) 脱炭素化取組支援セミナー (再掲)……………1回/年
- 3) ISO14001内部監査員養成講座 (再掲)……………4回/年
- ◆4) 会員の環境活動に対する支援 (モデルフォレスト協会との連携ほか)…随時
- 5) 環境関連3団体、その他外部団体との協働……………年間
- ★6) 環境経営を推進する人材養成講座 (再掲)……………6回/年
- 7) 第49回 関西環境管理者交流会……………1回/年

7 労働安全衛生の推進

- ★1) 安全衛生関連セミナー……………1回/年
- 2) 労働安全衛生研究懇話会 (再掲)……………7回/年
- ★3) BCP・危機管理研究会 (再掲)……………4回/年

8 地域産業の活性化

- 1) 国・京都府・京都市等関係行政機関との連携……………随時
- 2) 京都経済団体協議会との協調……………随時
- 3) 府内・外関係経済団体との協調……………随時
- ★4) 京都知恵産業創造の森との連携 (再掲)……………年間
- 5) 環境関連3団体、その他外部団体との協働 (再掲)……………年間
- 6) 青少年と科学の会への支援及び京のエジンプログラムの推進…随時
- 7) 北部地域産業界との連携……………随時
- 8) 要望活動……………随時

9 京都工業会館跡地の有効活用

退任ご挨拶



この度、SCREENホールディングスの取締役を6月20日の株主総会をもって退任となりましたので、後任の代表取締役 取締役会長の廣江に理事・副会長を交代致しました。

2019年に理事・副会長に就任して以来、理事・役員の方々に、会員企業の皆さま、事務局の皆さまには様々な場面で大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

言うまでもなく、京都工業会はモノづくりを核とした経済団体であり、他の京都の経済団体と比較しても事業内容がクリアで会員相互の絆は強いものがあります。

在任中、出来るだけ時間を作って工業クラブのセミナーや各種イベントに参加いたしました。私が参加した各種イベントや企画はいずれも視座の高いものであり、会員企業の皆さまとの交流も同じモノづくりに携わる者同士による共感溢れるものでありました。これらを通じ

参与 垣内 永次

て、会社の事業分野や規模の違いを超えた交流が出来るのが、京都工業会の大変すばらしい点です。

京都工業会は、人材育成事業をはじめ、多くの事業において会員企業の幹部を講師として主催しており、会員相互による研鑽を重ねているのが特徴的です。モノづくりを深めて行く為の処方箋が京都工業会の各種の活動に入っていると云っても過言ではありません。会員企業の皆さまが京都工業会を愛して、育てていこうという強い思いが、当会を更に高みに向かわせていると、在任中常

に感じておりました。中本前会長、村尾会長のお役に立てる副会長としての仕事が出来たかは心もとない次第ですが、京都工業会と会員企業の皆さまの今後の益々のご発展、ご隆盛を祈念申し上げます、皆さまへの感謝のメッセージとさせていただきます。

(株SCREENホールディングス 特別顧問)

退任ご挨拶



去る6月10日に開催されました第57回通常総会をもって、京都工業会副会長を退任いたしました。私の副会長在任期間は2年間と短く、あまりお役に立てなかったことを申し訳なく思います。皆様には大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

京都企業の人材育成、産業界の活性化と成長に大きく貢献し、伝統と実績のある京都工業会の副会長を務めさせていただいたことを大変光栄に思っています。私は、京都高等技術・経営学院長を務めさせていただきました。電子システム研究科並びにメカトロニクス研究科には、京都企業の各社から選ばれた、20名以上の優秀な若手エンジニアが約7ヵ月にわたり、豊富かつ充実したカリキュラムを通じて、広範かつ高度な知識を習得されま

参与 松下 芳弘

した。また、異業種、他社技術者との交流、情報交換を通じた人脈ネットワークづくりにも役立っていることを感じることができました。

京都工業会の事業は、経営者から中堅・若手の教育・育成と交流、そして京都企業相互の協力関係強化、成長発展に寄与するものであると確信しました。これからも京都工業会を通じて、会員企業の皆様が自己研鑽、相互研鑽を重ね、そして京都の産業界が更に成長発展されることを祈念いたします。

ものづくりに長年携わってきた者として、京都工業会で活動できましたことは大変有意義でした。今後の京都工業会の益々のご発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

(日新電機(株) 取締役)

退任ご挨拶



2004年に副会長を仰せつかってから早いもので21年が経過しました。

その間 中小企業、中堅企業担当をさせて頂いておりました。皆様のお役に立てたことが気がかりですが沢山の経営情報と人脈を得られた事が最大の良かった事です。

京都工業会の大きな特長は人材育成だと思っています。

私がお世話になったのは 京都技経学院で修士相当の勉強をさせて頂くことから始まりました。40年位前です。知人にこの事を話したら 流石 京都だね。粹な勉強してるね と言われました。芸妓さん、舞妓さんを始めと

参与 錦織 隆

する京都文化を勉強できるなんて と羨ましがられました。

その後 白鷺クラブ (EC) に入会させて頂き 更に研修と交流を深めることが出来ました。

海外産業視察で 海外から日本を見 他国と日本の違いを肌で感じる事が出来たのも 大きな収穫でした。

沢山の会員の皆様と交流ができ 本当に良かったと感じています。

長い間 お世話になった事に感謝し 京都産業の益々の発展 会員企業の更なるご隆盛を祈念して 退任の挨拶とさせていただきます。

誠に ありがとうございます。

(株日進製作所グループ 特別顧問)

就任ご挨拶

副会長 廣江 敏朗



このたび、京都工業会の副会長を拝命しました廣江でございます。

京都工業会の歴史を考えると、大変光栄に感じるとともに、その重責を痛感しております。職責に恥じぬように、努めてまいり所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

工業会の理念は、モノづくりにおける技術向上と、グローバル競争時代に対応できる製造業の振興を図ることと聞いております。

私自身も社会人人生の多くの時間を、技術者としてモノづくりに費やしてきております。また、半導体事業を立ち上げてきた経験も有しております。

一方で、近年においては、不透明かつ、変化の激しい経営環境の中で、何を優先して取り組むのかを見定めながら、中長期的な戦略を立案し、実践していかなければ、

企業の成長が望めないような状況となっています。

とは言え、経営環境変化には、常にチャンスが潜んでいます。サプライチェーンの変化が起こる時は、マーケットが新しいプレイヤーを欲している時であると理解しても間違いではないと感じております。

そのチャンスを掴めるかどうかは、個社の有する強みと、その育成に時間をかけて取り組みながら、補強すべきは補強し、変化に対応してゆく力が必要であると考えています。

そのような環境認識のもと、会員企業の皆さまに何かお役に立てることはないかを考えて参りたいと思っております。

当会の理念に恥じぬよう、村尾会長を支えて活動して参る所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(株)SCREENホールディングス 会長

就任ご挨拶

副会長 西村 陽



このたび、京都工業会の副会長という大役をお引き受けすることとなりました。大変光栄に感じると同時に、責任の重さに身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

京都工業会は、長年にわたり京都企業の人材育成に取り組み、地域産業の発展に貢献してきました。その意義ある活動の一端を担わせていただけることを、大きな励みと感じています。微力ではありますが、会のさらなる発展に向けて、力を尽くしてまいります。

いま、私たちの産業界は、デジタル化の加速、カーボンニュートラルへの対応、そして国際競争の激化など、こ

れまで以上に複雑でスピード感のある変化に直面しています。こうした時代にこそ、現場に根ざした技術力と、幅広い視野を持った人材の育成がますます重要になると考えています。京都工業会においても、そのニーズに応えるべく、柔軟で実効性のある取り組みが進められていると認識しております。

私自身、これまでさまざまな現場で技術開発や人材育成に関わってきました。そうした経験をもとに、会員企業の皆さんとしっかり対話を重ねながら、現場に根ざした実りある活動を進めていきたいと考えています。

引き続きご指導・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(日新電機(株) 社長)

就任ご挨拶

副会長 材木 正己



皆様におかれましては、平素より公益社団法人京都工業会の活動に深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、第350回理事会の承認を得て、副会長を拝命いたしました。

昭和37年以来、京都府内の地域産業発展と経営革新を担う人材育成を目的に発足し、連綿と事業活動を行ってきた京都工業会の副会長をお受けすることは、光栄かつ身の引き締まる思いであります。

当社は京都府綾部市に在しており、北部企業を代表し京都府南北をボーダレスに、人的交流と相互啓発を通し、京都府全体の経済発展に寄与して参りたいと考えております。

京都は100年永続する伝統的企業と、先進気鋭なグローバル・ベンチャー企業が共存する特徴ある地域です。豊かな歴史と美しい自然の中で新しい価値を生み出す京都ならではの風土には、「モノづくりは人づくり」の精神が宿っているものと思います。

最先端技術トレンドにおいて、AI・自動化技術や次世代通信など技術革新は年々加速しております。時代に応じて変化していくこと、そして変わらない理念を携えて、京都工業会の発展に微力ながら貢献していきたいと考えています。ご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(日東精工(株) 会長兼CEO)

令和7年度 会員企業優秀従業員定例表彰

6/10

6月10日 通常総会終了後、令和7年度優秀従業員定例表彰を挙げる。

まず、受賞者全員の名前を読み上げ、受賞者70名（53社）を代表して、白數雅英氏（株積進）へ村尾 修会長から表彰状と記念品が授与された。その後、会長がお祝いの言葉を述べた。

続いて、来賓の京都府商工労働観光部長・上林秀行氏、京都市産業・文化融合戦略監兼産業観光局長・草木 大から祝辞をいただいた。

その後、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



表彰された70名の方々

〈受賞者名〉（以下敬称略）

朝日レントゲン工業(株)	竹内 淳	(株)GSユアサ エナジー	佐藤 泰司	(株)日進PREVO	赤西 利幸
(株)イシダ	木村 友美	島津システムソリューションズ(株)	熊谷 満	(株)日進PREVO	市原 一子
一志	(株)中西正和	(株)島津製作所	翁長 誠	日新電機	(株)大槻次郎
オムロン	(株)木下航一	(株)島津製作所	肥後 佳明	日新電機	(株)吉川浩至
オムロン	(株)篠原正幸	島津トラステック(株)	中岡 秀一	福田金属箔粉工業(株)	左近 正雄
オリオン	(株)後藤幸秀	島津トラステック(株)	中嶋 覚	福田金属箔粉工業(株)	村上 祐治
尾池工業	(株)高橋健太	(株)島津ビジネスシステム	増瀬 智香子	(株)平安製作所	橋爪 良典
大阪ガスネットワーク(株)	市川 純子	島津プレシジョンテクノロジー(株)	高橋 弘樹	(株)堀場製作所	林 みのり
大阪ガスマーケティング(株)	小林 益雄	(株)SCREENホールディングス	中野 信行	三菱自動車工業(株)京都製作所	米澤 好史
(株)カシフジ	人長 宏文	(株)SCREENセミコンダクターソリューションズ	前川 直嗣	三菱自動車工業(株)京都製作所	吉田 明弘
(株)片岡製作所	奥宮 直樹	須河車体(株)	井上 隆一	三菱ロジスネクスト(株)	本多 利行
(株)菊水製作所	藤井 靖史	菅原精機(株)	絹川 秀高	三菱ロジスネクスト(株)	吉田 郁夫
京都機械工具(株)	田中 稔	星和電機(株)	川崎 貴志	(株)宮木電機製作所	西村 敏宏
京都精工電機(株)	原 寛	(株)積進	白數 雅英	村田機械(株)	矢野 史章
(株)クリスタル光学	小島 美智子	(株)たけびし	前田 宏信	村田機械(株)（(出向)村田パーツ販売(株)）	澤之井 要
クロイ電機(株)	森川 秀彦	太陽機械工業(株)	熊原 雅晃	メテック(株)	稲垣 崇
月桂冠	(株)高尾彰男	(株)大日本科研	高浜 孝司	明光精器(株)	栗田 博明
月桂冠	(株)西川裕次	トクデン(株)	石田 保	(株)モリタ製作所	白谷 冬樹
(株)工進	澤本 健一	(株)トミナガ	岩宮 宏治	(株)モリタ製作所	古田 直美
サンコール(株)	松田 純	TOWA(株)	岩井 雅浩	(株)森川製作所	吉田 英明
(株)最上インクス	松井 勝則	TOWA(株)	永村 巖	YUSHIN(株)	中川 広介
(株)佐藤製作所	宇野 博和	(株)藤堂製作所	田村 哲也	YUSHIN(株)	牧 真由美
三幸総研(株)	長谷川 清	ニチコン(株)	上田 敏弘		
(株)GSユアサ	中野 邦昭	ニチコン亀岡(株)	岸谷 圭子		

（企業名50音順）

白鷺クラブ活動報告

●令和7年度定期総会（鳶の会と合同開催）

開催日：4月4日 参加者：27名

令和7年度定期総会を「鳶の会」と合同で開催した。冒頭、山本代表幹事が開会挨拶を行った後、令和6年度の活動報告、令和7年度の役員を選任、そして本年度の事業計画について活発な討議を行い、全ての案件について満場一致で承認された。

今年度の国内視察は、11月6日・7日に広島県を訪問する。また、本会首脳との懇談や滋賀県の若手経営者で構成する「あさって塾」との相互の交流訪問などが予定されている。

<令和7年度役員>



代表幹事：中本 宏樹氏
(福知山重工業・社長)



代表幹事：山岡 靖尚氏
(山岡製作所・社長)

- 幹事：山本 光氏 (平安・専務)
 〃：河井 領氏 (京和ブロンズ・社長)
 〃：佐藤 一成氏 (エンゼル工業・社長)

●5月例会 メンバー企業 太平工機(株) 訪問

開催日：5月16日 参加者：15名

第570回例会は、白鷺クラブメンバー企業である太平工機(株)宇治工場を訪問。主に自動車搭載用のジャッキ製造において、同社は大手自動車メーカー数社のティアワン企業として存在感を示す。



社長就任5年目を迎えた那須剛人氏(那須剛人社長)に経営方針やモノづくりのこだわりなどについて伺い、工場見学も実施。長年にわたり、高い安全性の確保が要求される製品づくりに携わってこられた同社の技術は高く評価されており、参加メンバーからは「コラボレーションの可能性もあるのでは」といった意見や質問が数多く寄せられた。同社の事業活動に対する理解が深まり、メンバー間で互いに切磋琢磨する有意義な例会となった。

●6月例会 鳶の会 先輩経営者 泉電熱(株) 訪問

開催日：6月19日 参加者：13名

第571回例会は、白鷺クラブを卒業された泉電熱(株)京都工場(八幡市)を訪れ、城之園専務から同社の概況・経営について伺った。同社は、1971年の創業以来、産業用電熱ヒーターの製造一筋に歩んで来られた。厳格な品質管理のもと、長年にわたり蓄積された経験と技術力により、安全・安心で社会を豊かにする各種機器や装置の提供、また、障害者の方も積極的に雇用しており、京都府から、その功績が認められ障害者雇用優良事業所として表彰されている。

工場では手作業での工程が多く、一人一人が黙々と熱心に作業をする姿が印象的であった。障害の有無にかかわらず、皆が安心して働きやすい職場環境づくりに努めている。

第696回 京都工業クラブ

4/16

「次世代電池の開発と今後の動向について」

(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 会長
村尾 修 氏

最初に、高性能なリチウムイオン電池BEV (Battery Electric Vehicle) 市場及び再生可能エネルギー分野への事業拡大を目指すGSユアサの長期ビジョン「Vision2035」や宇宙にも活用される同社の製品等について紹介があった。



続いて、リチウムイオン電池の原理や特徴について解説後、次世代電池として同社も研究開発を進めている全固体電池・ナトリウムイオン電池についても紹介された。

最後に、「今後の蓄電池市場は車載用・定置用ともに拡大の見通しであり、市場に合わせた最適性能を持つ次世代電池を提供していく」と述べられた。

第697回 京都工業クラブ

5/23

「最先端のAI/生成AI導入事例のご紹介 ～AI/生成AI導入の成功の鍵となる要因を徹底解説～」

デル・テクノロジーズ(株)
アドバイザリー ソリューション プリンシパル 山下 智彦 氏
同 池田 司 氏

【山下氏講演】2025年は生成AIの本格導入が進む転換期とされ、「多くの企業がPOC (Proof of Concept : 概念実証) 段階にある中、実運用には課題が残っている」と現状を分析された。その上で同社における生成AI活用事例や、データ・インフラ・オープンエコシステム・サービスを組み合わせるAIのビジネス活用を支援する「Dell AI Factory」等が紹介された。



【池田氏講演】「AI時代に必要となるデータ整備」と題し、鮮度の高いきれいなデータをいつでも使える仕組みの構築やその後のAI開発、データ分析の根幹となる人材育成について解説があった。



第698回 京都工業クラブ

6/17

「ペロブスカイト太陽電池 ～量産化の見通しと世界との競争～」

桐蔭横浜大学 特任教授・工学博士 宮坂 力 氏

ペロブスカイト太陽電池の特徴として、軽量・柔軟で曲面への対応も可能であること、弱い光を電力へ変換できること、製造・廃棄時のCO₂排出が少なく環境負荷が低いこと等が紹介された。



一方、現時点での課題としてコストや鉛使用の問題、耐久性等を挙げられた。

また「日本は、ペロブスカイト太陽電池の主な原料であるヨウ素の生産量世界第2位を誇ることから、材料の国内調達が可能であるためペロブスカイトの社会実装が期待され、国産技術の育成が急務である。」と述べられた。

「切る、巻く。で世界を支える」を掲げ、スリッターで永続企業を目指す！

(株)西村製作所 プロフィール
 創 業：昭和21年(1946年)
 設 立：昭和32年(1957年)
 資本金：1億円 社員：132名(2025年3月現在)
 住 所：京都市南区上鳥羽南苗代町21番地
 業 種：スリッター(産業機械)の設計、製造、販売

株式会社西村製作所

代表取締役社長 西村久人氏

独自設計によるスリッター(シート状材料を任意の幅に裁断する産業機械)の研究開発に努め、国産第1号機を造った(株)西村製作所の西村久人社長にお話を伺いました。



で取引そのものが消滅することはないと思いますが、この先数年は売上が減少する見込みを立てています。

—NSコーポレートビジョン2021

社長になった際に制定したコーポレートメッセージ「切る、巻く。で世界を支える」を根底に置き、社員に伝わりやすくするために社会的ビジョンと社会的使命、企業ビジョンと企業使命に落とし込み、当社のコーポレートビジョンとして取りまとめました。

このビジョンは、私が入社して以来考えていた経営のあり方を将来の当社を背負う若手社員達と話し合いまとめたもので、社員としての行動規範と判断基準が平易な言葉で書いています。ビジョンの制定で、これまでは不明瞭だった様々な基準や分担が明確になり、事案が速やかに進むようになりました。

—スリッターとの出会い

終戦後、祖父が機械修理で創業し、島津製作所の仕事に関わっていたようです。リヤカーを引いて同社工場へ行き、機械を預かって修理をする中で、1950年頃にドイツ製スリッターのオーバーホール依頼があり、「これは面白いな」と思ったのがスリッターを造るきっかけだったと聞いています。1954年には国産スリッターの1号機を製造しました。

開発に当たっては、凄く優秀な京大生が関わり、他にも手伝いに来てくれていた方が車のタイヤ回転をなめらかにするディファレンシャルギアという機構を機械のスピードと潮流のコントロールに取り入れて完成し、爆発的に売れたそうです。

—現在の状況

前期売上は国内20%で海外80%、スリッター市場シェアは国内ナンバーワンで世界では2位でした。国別では中国が圧倒的に多く、欧米、韓国、台湾などへも輸出しています。用途別では、電気自動車バッテリー用の製品が突出して多いです。

一概にスリッターといっても、業界や分野によって、裁断する材料には紙、フィルム、アルミ箔等があり、裁断幅も0.15mmから3mぐらいまでのものが使われています。ほとんどの会社は限られた用途の製品しか造っていませんが、当社の特徴はフルラインナップで製造していることです。素材が金属かフィルムあるいは複合材料なのか判らないものでも、サイズを問わず当社製品の中で対応するスリッターが見つかります。

—トランプ関税の影響

特に電気自動車に対する関税で大きな影響があると考えています。中国をはじめとする電気自動車メーカーが今後どの国で製造するのか、欧州、メキシコ、カナダ、それともアメリカ国内なのかが決まらなると当社も動けず、今は待ちの状況です。製品の仕向け地が変わるだけ

NSコーポレートビジョン2021

コーポレートメッセージ

切る、巻く。で世界を支える

社会的ビジョン	社会的使命
製造業が担う役割と責任を自覚し、事業活動を通して先端技術の実用化に貢献しながら、環境保全および人々の福祉に役立つことで、あらゆる世代が継続的に安心して安全に暮らせる社会の実現を目指す。	・製造者としての責任：環境・安全性への配慮、効率化への取り組み。 ・環境保全：日常における従業員への啓発活動 ・人々の福祉：従業員の健康づくり、福利厚生制度の運用、公正な労働・取引条件、地域社会との交流・サポート
企業ビジョン	企業使命
世界市場で販売戦略を展開するために、商品の多角化及び技術の向上を図り、名実ともに「世界のNISHIMURA」としての地位の確立に努力すること。	Absolute Technology for Your Expectations — お客様のご要望に応じた、優秀な機械を作ること

※「NSコーポレートビジョン2021」から一部抜粋・編集して作成。

—障害者雇用

障害者雇用促進法に基づき、社員数に応じた障害者雇用が義務付けられていますが、当社では約10年前から積極的に採用しています。例えば、健常者にとっては難しいことである、ずっと同じ作業をすることを得意とする障害者の方もおられるなど、貴重な戦力になることが分かりましたので、戦略的に受け入れています。社員同士も助け合うことで、既にコツコツと仕事をするのが得意な3名の方が定着されています。

—今後の目標

会社を永続させることが社長の役割だと考えており、その一時期に私が社長のタスキを預かったのも、後継者をしっかりと育ててタスキを引き継ぐことが目標です。

また、R&Dセンターを設置してお客様の求める製品開発のための技術開発に注力し、スリッター業界における「世界のNISHIMURA」としての地位の確立に、一層の努力を続けていきたいと思っています。

業務革新研究会

本会の基幹事業の1つである業務革新研究会（全8研究会で構成）は、合計172名の参加者を迎え、令和7年5月8日から本年度の活動を順次開始した。

各研究会ともに、初回は午前から開催し、はじめに研究会活動の概要説明を行った。その後、参加者からの自己紹介に続き、年度方針（スローガン）及び、前期カリキュラム（5月～9月）の検討を行った。午後には、アドバイザーの基調講演や講義、それを踏まえた活発な討議等を展開した。

以下に、2つの研究会の活動概要を紹介する。

【流れづくり（VSM）研究会】

日時：令和7年5月22日

講師：香川博昭氏（香川改善オフィス 代表）

内容：付加価値と7つのムダ、ムダの着眼、改善の4ステップ等の講義、工程改善を行っているビデオを視聴し、各社の改善事例を学んだ。

【講演内容の抜粋】

◇7つのムダと3つの分類（着眼）

1. 動作のムダ 2. 運搬のムダ	①作業のムダ それぞれの作業の中に潜むムダ
3. 手待ちのムダ 4. つくり過ぎのムダ 5. 在庫のムダ	②間のムダ 作業者間や工程間、複数作業間の連携の悪さから生まれるムダ
6. 不良のムダ 7. 加工の中のムダ	③作り方のムダ 製品の構造、製造方法、加工方法や生産設備の構造などに潜むムダ

【産業工学（IE）研究会】

日時：令和7年6月3日

講師：吉植久正氏（NPSソリューション 代表）

内容：ワークサンプリング、製品工程分析、組立作業分析、標準作業作成について講義をいただいた。また、製品工程分析やブロックを用いた組立作業分析等の作成演習を行った。

【討議内容の抜粋】

◇製品工程分析の記号（基本的ルール）

記号	工程名	内容
○ 大丸	加工	材料の形・質を変える 品質を作り込む
◦ 小丸	運搬	材料・製品の位置を変える 加工や検査を結びつける
□ 正方形	検査	品質・数量のチェック 加工の出来栄をみる
▽ 逆三角形	停滞	時間のみが経過する 素材の場合は△の記号

京都高等技術・経営学院

【第45回電子システム研究科】

【第42回メカトロニクス研究科】 開講

7
1

7月1日、理論に基づく応用力強化と先端電子技術を習得する第45回電子システム研究科（11名）及び機械と電子の接点を理解・習得する第42回メカトロニクス研究科（12名）の合同開講式を挙行了。

今日の激しい技術革新に対応する技術人材の育成が企業の持続的発展に向けて何よりも求められている。

幅広く、それでいて力量があり、加えて実践的対応力のある人材育成を図ることを目的に、京都府の支援と府内の大学及び産業界の協力のもと、来年2月下旬まで行われる長期研修として定着し、京都のモノづくりを支える人材を数多く輩出している。

当日は、京都高等技術・経営学院長（本会副会長）西村 陽氏の式辞、そして京都府中小企業技術センター 所長 北垣 寛 氏からお祝いと激励の言葉がおくられ、長期研修がスタートした。

新規事業の予告

外国人材採用研究会(エンジニア編)(全3回)

生産年齢人口が減少する中、多くの中堅・中小企業で採用が困難になっている若手エンジニア確保のため、外国人材の中でも優秀で勤勉な方が多いベトナム人をターゲットにした採用活動の事前研究を行います。

最近では、ミスマッチが起こらないよう、面接で選考した現地大学生を1年間インターン生として受入れ、企業と学生の双方が採用を希望する場合に、正社員として採用する選考方法が注目されています。

外国人の採用経験がない企業、採用したもののミスマッチで退職された経験のある企業など幅広くご参加ください。

なお、本研究会参加者に希望を募り、11月に実際にベトナムを訪問し、高度人材採用活動（会社説明会、現地地理系学生面接）を実施することを予定しています。

1. 主催 公益社団法人 京都工業会

2. 共催 公益財団法人 京都産業21

3. 日時

第1回 令和7年8月5日(火)10:00～12:00

第2回 令和7年8月27日(水)10:00～12:00

第3回 令和7年9月25日(木)10:00～12:00

<予定> 令和7年11月17日(月)～19日(水)

ベトナム現地訪問3日間(別途費用)

※最低催行人数有り。

4. 場所 京都工業会会議室とオンラインの併用

5. 対象 京都工業会会員、一般企業の人事担当部門や製造部門の管理職等

6. 参加費 会員企業：16,500円/人(税込)

一般企業：33,000円/人(税込)

7. 申込 京都工業会HPトップページ『一参加者募集』コーナーの中から本研究会を選択してお申込み下さい。

URL：https://www.kyokogyo.or.jp

シリーズ 魅力ある職場づくり～会員企業の取組紹介～その9

本年度も引き続き、職場の魅力向上に努めておられる会員の状況をご紹介します。

第9回はコフロック(株)を訪問して、お話を伺いました。

(取材日：令和7年6月3日)

コフロック(株)

創 業：昭和24年（1949年） 資本金：10,000万円
社 員：206人 住 所：京田辺市草内当ノ木1-3

お話を伺った皆様

取締役 小島由実子 氏
管理部長 新 雅夫 氏
管理部 松本愛子 氏
開発本部開発部計装グループ 小嶋和広氏



▲新部長（左）と松本氏（右）

▲小島取締役

創業からの経緯

昨年に創業75周年を迎え、4代目の現社長が“流体を科学する”を掲げて活動している会社です。島津製作所の下請け会社として創業し、当初は微量流量の気体を測る小型の流量計を造るところから始まりました。その後、アナログ式から電子式の流量計に範囲を拡げ、お客様の要望に応じて種類も徐々に増やしました。1990年頃からガス発生装置の製造も始め現在は流量制御パーツとガス発生装置の2つの柱で事業を行っているメーカーです。

元々分析業界を中心に使用されていた流量計ですが、業種を絞らずユーザーのニーズに応じた製品の提案を続けてきた結果、取引先は国内外で約6,500社になりました。

社員体制と女性の活躍

本年5月末時点の社員数は、正社員が130人、パート社員と嘱託社員の方で75人、上海駐在員が1人の計206人です。全体の47%を女性社員が占めており、地元の方を中心にパート社員として、20年、30年と長期間働いている方が多数おられます。

“私達が頑張らなきゃ”“コフロックの高品質な製品を私達が造っている”という誇りを持って働いているという声が多く、社員から聞こえてきます。パート社員の業務も、入社して直ぐに出来る様な業務ではなく、熟練の技術が求められるため、それが仕事への誇りややりがいにつながっており、長く働き続けてもらえる理由の一つかも知れません。

よく利用される休暇制度

当社では介護休暇を取得する社員が多く、また半日休制度に加えて時間休制度も導入してから活用する人が増えました。育児休暇の取得も進んでいます。いずれの制

度も担当業務の進捗状況や周りの人との連携を上司と相談し、業務に影響が出ないようにセクション毎に調整しながら取っておられます。

男性社員の育児休暇取得も年に2～3人ほどあり、期間は1か月程度ですが、復帰後の社員からは「もう少し長くても良かった」という声もあり、今後は個別相談を通じてより柔軟に対応していきたいと考えています。

また、子供の急な病気の際には看護休暇制度も活用されています。出勤が難しい場合、業務内容によってはテレワークを一部認めることもあります。

社員表彰

社員同士の親睦を深めて欲しいという社長の想いから、毎年全社員を対象にしたお花見会（懇親会）を開催しています。昨年までは休日に開催していたのですが、今年は平日に開催したところパート社員の参加が増えてとても盛り上がりました。

このお花見会では、永年勤続社員表彰とコフロック賞、改善提案表彰を実施しています。永年勤続表彰は10年以上勤務した社員を対象に、5年毎の節目の年に表彰します。コフロック賞は表彰基準を設けており、新製品開発や製品改良など会社の業績に貢献した社員またはチームを表彰しています。改善提案表彰は、改善した内容を上司に報告し、上司が点数を付けて改善提案委員会に提出。その後、委員会で評価し、賞の等級が決定されます。委員会のメンバーは異なる部署から構成され、改善内容を色々な観点から評価します。ちょっとした改善なら奨励賞、大きな改善なら1級というように、評価等級で賞金額と提案ポイントが変動します。社員はもちろん、パート社員や嘱託社員からも素晴らしい提案が数多く寄せられています。

新入社員の育成

新入社員には入社後約2か月半、全ての部署を回る研修を実施しています。これは適性を見極めと教育の両面で非常に効果があり、配属後の定着やコミュニケーション促進にもつながっています。また、将来的には複数の部署を経験してもらいたいと考えており、各部署の業務を知ってもらうことはキャリア育成の観点でも重要です。

研修の締めくくりには成果発表会を行っており、新入社員全員で考えをまとめ、プレゼン資料を作成するため、仲間意識が芽生えます。当社では、先輩社員が入社後2年までの新卒、中途社員を支援するメンター制度も導入しています。

教育の一環として行っているインターンシップの受入の際は、新入社員と若手社員に企画と運営を任せています。その結果、半年間の活動期間を終える頃には、年次を問わず、互いをよく理解し合い部署や立場を超えた1つのチームのような関係性が築かれています。先輩が新人を教え、それを次の年に引き継いでいくことで、若手

社員全体が良い関係になってきました。そのため離職率は非常に低く、入社3年以内の離職者はゼロという実績につながっています。

現場社員から一言

—どんな仕事をされていますか

小嶋氏 入社5年目です。入社後、約2か月半の研修を経て、希望していた開発部に配属されました。



私の担当は配属当初から、製品を制御するために必要となる基板の設計です。プリント基板上に載せる部品に何を使用するか、その配置や繋ぎ方を考え、回路図と呼ばれる図面を引きます。同じ部品を使っているけど、繋ぎ方を少し変えるだけで動かなかったり全く違う動作をしたりするので、どうすれば希望通りに動かすかを考えます。実際に出来上がったモノを動かし、設計通りに動作するか、していない場合は原因と対策の検討も行い、基板として完成させます。

大学で学んでいたこともあり、回路図を読むことに関しては予備知識があったのですが、設計経験はなく、過去の設計資料を自分で読み解いたり上司に教えてもらいながら覚えていきました。今では自分で出来ることが格段に増えてきましたが、上司に確認や相談をしながら進めています。

—若手社員が働きやすい雰囲気ですか

小嶋氏 私には同期が1人いますが離れた工場に配属され、私よりも先に入社した新卒の先輩とは年齢がかなり離れており、若手は私1人でした。しかし、私から下の世代は毎年数名が入社するようになり、若手同士のコミュニケーションが取りやすい環境になりました。私が入社して数年、仕事にもだいぶ慣れてきて後輩社員を気に掛ける余裕も出てきたため、後輩社員達の歓迎会を開いたりしました。その後も夜ご飯や飲み会等、若手社員同士での交流が活発になったのではないかと感じています。私は若手から卒業しつつありますが、今ではお昼に若手が集まって食堂で食べる姿もよく目にするようになりました。

—会社の魅力を教えてください

小嶋氏 当社で働いていると、幅広く色々な経験が積めるのが良いですね。製品が出来るまでには、開発段階で担当分野の設計だけでなくソフトウェアや機械分野担当とのすり合わせが必要です。社内だけで解決しないことは基板や部品を取り扱うメーカーや商社に相談することもあります。そして製品化が決まると生産部等から要望が出てくる場合があるので、関係者との連携が非常に重要です。こうした関係者との関わりの中で、色々なやり方や工夫が日々感じられて良いなと思っていますし、製品製造の目的が立った時には関係者皆で喜びを共感できるので、やりがいを感じます。

インタビューにご協力いただいたコフロック(株)の皆様、誠にありがとうございました。

新規事業

環境人材育成講座

モノづくり企業における環境関連業務は、ESG経営に関わる環境配慮への対応から、大気、水質、廃棄物、エネルギーなどの環境管理と非常に幅が広く、中長期的な人材育成が各社共通の課題である。本講座はモノづくり企業における環境問題に対応できる人材の育成を目的として、概ね月1回ペースで全7回開催する。

特に環境法令違反は企業にとって大きなリスクとなるため、本講座の第1回から第3回でモノづくり企業として知っておくべき環境関連法規を学ぶ。

第1回開催概要報告

講師：(株)地域環境システム研究所
代表取締役 岸 孝雄氏



令和7年6月11日に環境人材育成講座の第1回を開催し、環境業務従事経験3年未満の実務者を中心に14名が参加した。

最初に、「環境基本法と制定の背景」と「環境マネジメントシステムと法律の関係」について解説があり、国の環境政策の基本的な方向性と法規の分類（法律、命令、条例）について認識を新たにしました。

続いて、化学物質の管理に関わる法律である化審法や、労働安全衛生法、欧州REACH規則を取り上げ、化学物質の適切な取り扱いや処理について体系的に学んだ。

最後に、2027年頃に欧州で開始が見込まれるPFAS規制の動向についても解説があった。現時点では2025年内に予定されている欧州議会での法案審議・採択を前に、規制免除等に向けた諸団体によるロビー活動が展開中とのことであった。

本講座の今後の予定

回	日時	内容
2	7/22 (火) 14:00 ~ 16:30	廃棄物、危険物の管理 廃棄物処理法、消防法、WEEE指令、RoHS指令
3	8/7 (木) 14:00 ~ 16:30	公害対策 水質汚濁防止法・下水道法、土壌汚染対策法、大気汚染防止法
4	10/8 (水) 9:00 ~ 17:30	廃棄物処理施設見学、廃棄物処理フロー学習 会場：(株)京都環境保全公社
5 7	11月~1月 予定	様々なビジネスシーンで登場する企業価値を高めるESG経営に不可欠な3つの環境キーワード「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」について学ぶ。

叙勲の栄

本年度の春の叙勲が発令され、本会関係では次の2氏がその栄に輝かれました。
会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。



旭日単光章御受章
山本賀則氏
(株寺内製作所 相談役)



旭日単光章御受章
片山 保氏
(株京都科学 相談役)

新入会員ご紹介

(5月16日、第349回理事会で承認されました。)

〈正会員〉

(株)ネクステージ 京都事務所

社長 岡田 守 弘

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町263
京築烏丸ビル8F

TEL.075-746-3971 FAX.075-746-3976

コンピュータソフトウェアサービス、システム構築
コンサルティング、システム設計およびプログラム受託
開発、システム運用・保守サポート



ゴルフ同好会 (KIG) だより

令和7年度第1回例会(第249回例会)結果

と き：令和7年6月4日

ところ：鳴尾ゴルフ倶楽部

参加者：20名(内 シニア7名)

優 勝 牧野 稔氏 (サンエー電機株)
準優勝 桐野 茂氏 (株クリスタル光学)
3 位 橘 宏氏 ((一社) 京都工場保健会)
B G賞 牧野 稔氏 (サンエー電機株)



訃 報



■太田 勝也氏 (株松風 元会長)
(平成13年5月～平成22年5月まで)
本会理事
5月9日、ご逝去されました。(享年82歳)

■高谷 謙次氏 (株高布 前社長)
6月23日、ご逝去されました。(享年71歳)
ここに、会員各位とともに謹んで哀悼の意を表します。

今すぐ
残高確認
できるよ!

京都信用金庫アプリ
でのひら京信



スマホで口座開設から
オンライン相談まで

「でのひら京信」アプリユーザー限定

京信ポイントBANK

P
京信で
ポイントを

ためる!
つかう!
示やす!



コミュニティ・バンク京信

京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地
「コミュニティ・バンク京信」は、京都信用金庫のブランドネームです。

京都工業会 ニュース No.423

発行 2025年7月25日
公益社団法人 京都工業会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター 6階

TEL.075(353)0061 FAX.075(353)0065
URL : <http://www.kyokogyo.or.jp>
E-mail : info@kyokogyo.or.jp

